



2009.11.18

全国の夫1,000人、妻1,000人 計2,000人に聞いた「夫婦間メール調査」結果発表

## 夫婦間のコミュニケーションで、「メール」を利用する人は7割以上。

- 若い世代の夫婦では「通話」より「メール」。
- 夫婦間のメール利用者のうち「絵文字」使用者は約6割、夫50・60代でも約4割が、妻へ「絵文字」メール。

博報堂生活総合研究所では、夫婦間コミュニケーションの特徴を把握することを目的とし、全国47都道府県の20代から60代の計2,000名(夫1,000名・妻1,000名)を対象に、「夫婦間メール調査」を実施しました。

この調査から、11月22日「いい夫婦の日」を前に、夫婦間コミュニケーションに関する分析を発表します。

### 【調査結果の概要】

#### ① 夫婦間のコミュニケーションで、「メール」を利用している人は7割以上。

##### 夫20代、妻20・30代は、「通話」より「メール」。

夫婦間のコミュニケーションで利用する情報機器は、1位「(電話の)通話」(80.6%)、次いで「メール」(73.3%)。7割以上が夫婦間でメールを利用していた。特に夫20代、妻20・30代では、「通話」を抑えて「メール」がトップになり、いまや若い夫婦では、メールのコミュニケーションが不可欠のようだ。またシニア層でも、夫60代49.5%、妻60代41.5%が「メール」でコミュニケーションをとっていることが分かった。

#### ② 夫婦間メール利用者のうち、約4割が「ほぼ毎日」メール。

夫婦間でメールを利用している人に利用頻度を聞いたところ、最も多かったのが「ほぼ毎日」(40.3% ~夫婦間でメールを利用している人ベース~以下同)、次いで「週に2~3回程度」(29.3%)、「週に1回程度」(14.1%)と続き、夫婦間でこまめに連絡をとり合っていることがうかがえる。

#### ③ 夫婦間メール利用者のうち、「絵文字」使用者は62.7%。

##### また夫50・60代の約4割が、妻へのメールで「絵文字」を使用。

夫婦間メールで文字情報以外に利用されている素材は、1位「絵文字」(62.7% ~夫婦間でメールを利用している人ベース~以下同)、2位「写真」(40.1%)、3位「顔文字」(31.9%)。一方「文章/テキストしか利用していない」は25.4%で、7割以上の人が文字情報以外の素材を使ってメールを作成している。また「絵文字」は、すべての性・年代でトップで、シニア夫婦の間でも「絵文字」利用率は高く、夫では50代41.0%、60代39.4%、妻では50代62.6%、60代48.2%という結果だった。

#### ④ メール内容トップ3は、「帰宅時間」「お使い」「食事の有無」。

メールで連絡する内容は、1位「帰宅時間」(77.1% ~夫婦間でメールを利用している人ベース~以下同)、2位「お使い(買い物)など日常的なお願い」(50.8%)、3位「食事の必要有無」(48.3%)と日常生活の簡単な連絡事項が上位を占めた。その一方で「その日起こった出来事や見た風景など他愛もないこと」をメールする人も約3割おり、メールは夫婦間のコミュニケーションを深めるための重要なツールとなっているようだ。

本件に関する  
お問合せ先

株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所  
株式会社博報堂 広報室

小原・吉川 TEL:03-6441-6450  
西尾・大野 TEL:03-6441-6161

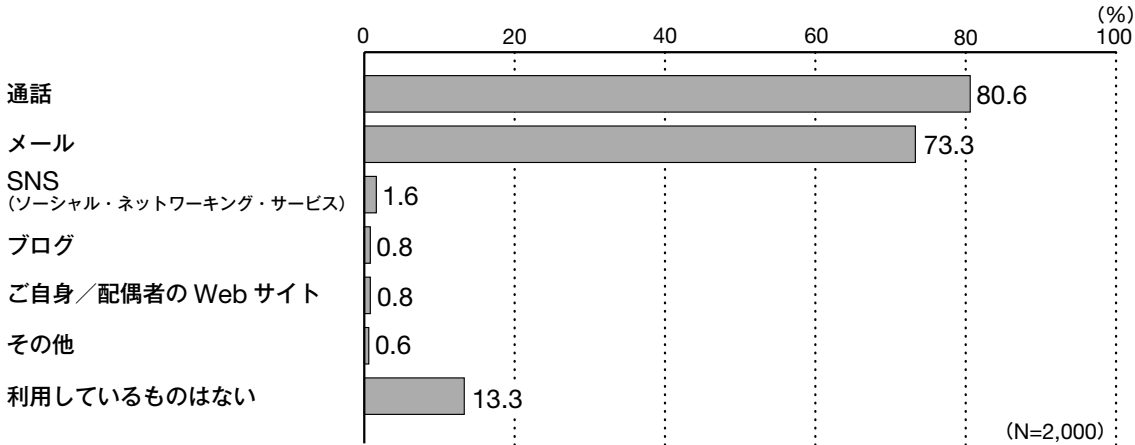
# ① 夫婦間のコミュニケーションで「メール」を利用している人は7割以上。 夫20代、妻20・30代は、「通話」より「メール」。

夫婦間のコミュニケーションで利用する情報機器は、「メール」の割合が「通話」とともに圧倒的に高く、1位「(電話の)通話」(80.6%)、次いで「メール」(73.3%)。7割以上が夫婦間で「メール」を利用していた。

## 夫婦間コミュニケーションの利用通信サービス

《全体》

Q あなたが夫婦間のコミュニケーションで利用している通信サービスを全てお答え下さい。(複数回答)



特に夫20代、妻20・30代では、「通話」を抑えて「メール」がトップになり、いまや若い夫婦では、メールのコミュニケーションが不可欠のようだ。またシニア層でも、夫60代49.5%、妻60代41.5%が「メール」でコミュニケーションをとっていることがわかった。

《性年代別》

夫	利用率 (%)		
	順位	サービス	利用率
20代	1	メール	93.5
	2	通話	90.5
	3	SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	4.0
30代	1	通話	92.0
	2	メール	88.5
	3	ブログ	1.5
40代	1	通話	78.0
	2	メール	74.0
	3	SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	0.5
50代	1	通話	74.5
	2	メール	67.0
	3	ブログ	1.0
60代	1	通話	69.5
	2	メール	49.5
	3	SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	0.5

妻	利用率 (%)		
	順位	サービス	利用率
20代	1	メール	94.0
	2	通話	92.5
	3	SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	4.5
30代	1	メール	89.5
	2	通話	86.5
	3	SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	4.0
40代	1	通話	81.5
	2	メール	73.5
	3	SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	1.0
50代	1	通話	73.0
	2	メール	61.5
	3	ご自身/配偶者の Web サイト	1.0
60代	1	通話	67.5
	2	メール	41.5
	3	ご自身/配偶者の Web サイト	0.5

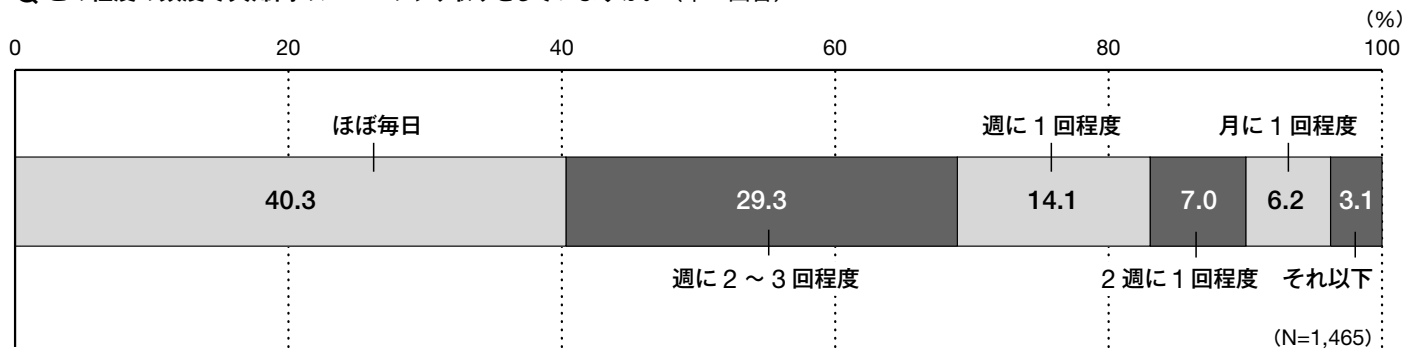
## ② 夫婦間メール利用者のうち、約4割が「ほぼ毎日」メール。

夫婦間でメールを利用している人に利用頻度を聞いたところ、最も多かったのが「ほぼ毎日」(40.3% ~夫婦間でメールを利用している人ベース~以下同)、次いで「週に2~3回程度」(29.3%)、「週に1回程度」(14.1%)と続き、夫婦間でこまめに連絡をとり合っていることがうかがえる。

### 夫婦間メールの利用頻度

《全体》

Q どの程度の頻度で夫婦間のメールのやり取りをしていますか。(単一回答)



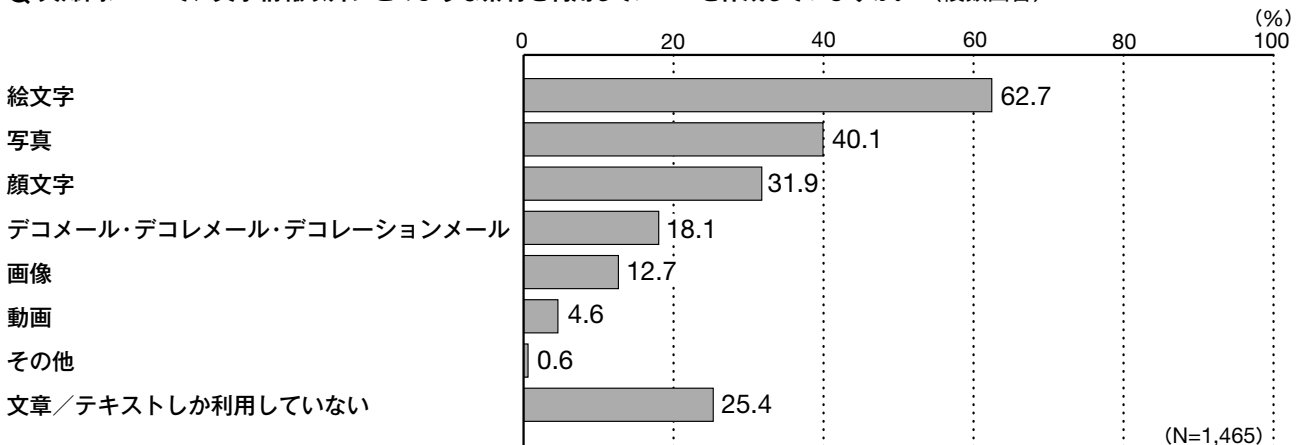
### ③ 夫婦間メール利用者のうち、「絵文字」使用者は62.7%。 また夫 50・60代の約4割が、妻へのメールで「絵文字」を使用。

夫婦間メールにおいて文字情報以外に利用されている素材は、1位「絵文字」(62.7% ~夫婦間でメールを利用している人ベース~以下同)、2位「写真」(40.1%)、3位「顔文字」(31.9%)。一方「文章／テキストしか利用していない」は25.4%で、7割以上の人が文字情報以外の素材を使ってメールを作成している。

#### 夫婦間メールの利用素材 (文字情報以外)

《全体》

Q 夫婦間メールで、文字情報以外にどのような素材を利用してメールを作成していますか。(複数回答)



「絵文字」は、すべての性・年代でトップで、シニア夫婦の間でも「絵文字」利用率は高く、夫では50代41.0% (~夫婦間でメールを利用している人ベース~以下同)、60代39.4%、妻では50代62.6%、60代48.2%という結果だった。

《性年代別》

夫	利用率 (%)		
	順位	サービス	利用率
20代	1	絵文字	69.0
	2	写真	51.3
	3	顔文字	41.7
30代	1	絵文字	68.4
	2	写真	44.6
	3	顔文字	35.0
40代	1	絵文字	46.6
	2	写真	31.8
	3	顔文字	21.6
50代	1	絵文字	41.0
	2	写真	27.6
	3	顔文字	20.1
60代	1	絵文字	39.4
	2	写真	28.3
	3	顔文字	16.2

妻	利用率 (%)		
	順位	サービス	利用率
20代	1	絵文字	82.4
	2	写真	56.4
	3	顔文字	39.9
30代	1	絵文字	76.0
	2	写真	50.8
	3	顔文字	38.5
40代	1	絵文字	66.0
	2	顔文字	31.3
	3	写真	29.9
50代	1	絵文字	62.6
	2	顔文字	34.1
	3	写真	28.5
60代	1	絵文字	48.2
	2	写真	28.9
	3	顔文字	24.1

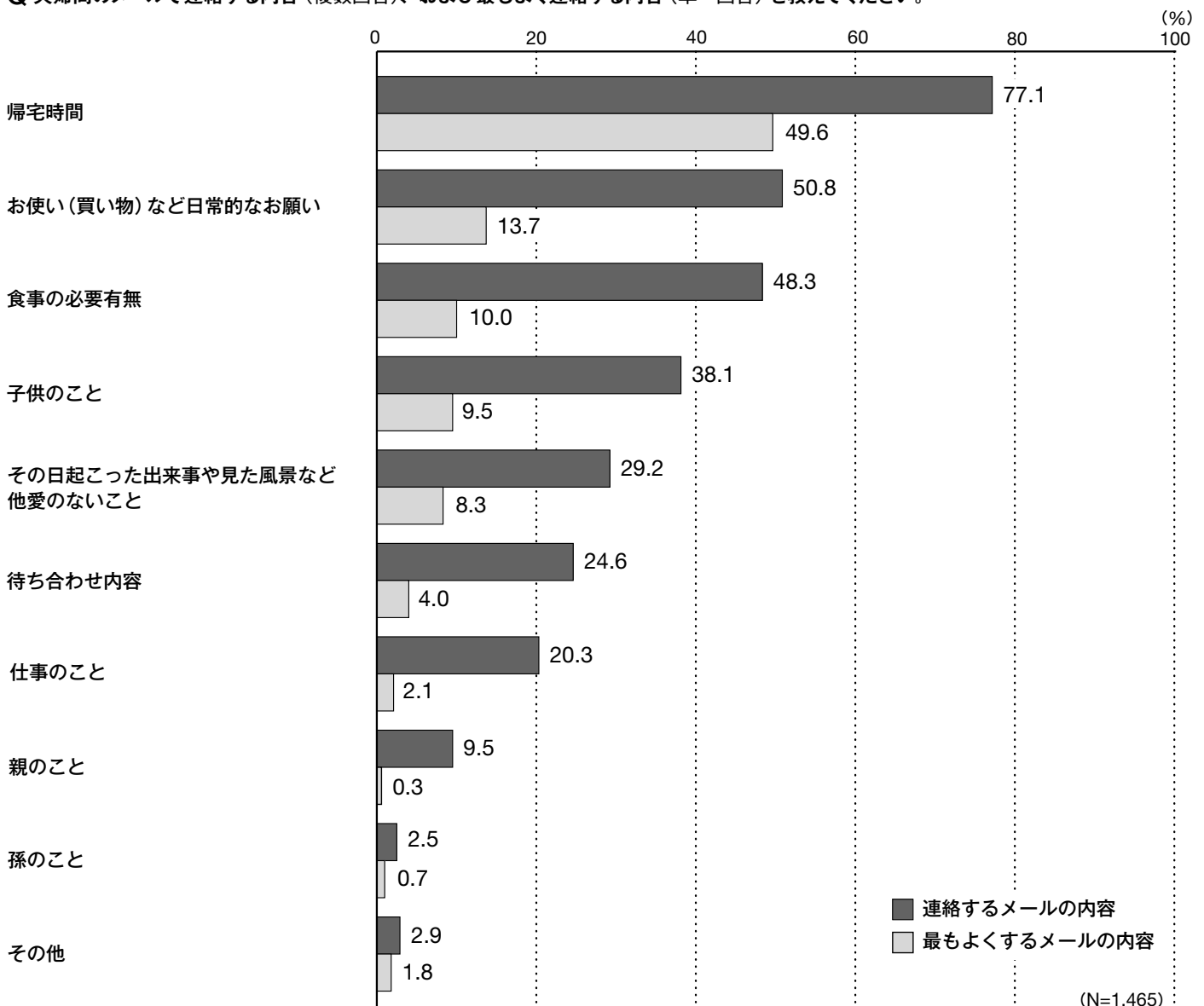
## ④ 夫婦間メールの内容トップ3は、「帰宅時間」「お使い」「食事の有無」。

夫婦間メールで連絡する内容は、1位「帰宅時間」(77.1% ~夫婦間でメールを利用している人ベース~以下同)、2位「お使い(買い物)など日常的なお願い」(50.8%)、3位「食事の必要有無」(48.3%)と日常生活の簡単な連絡事項が上位を占めた。その一方で「その日起こった出来事や見た風景など他愛もないこと」をメールする人も約3割おり、メールは夫婦間のコミュニケーションを深めるための重要なツールとなっているようだ。

### 夫婦間メールの連絡内容

《全体》

Q 夫婦間のメールで連絡する内容(複数回答)、および最もよく連絡する内容(単一回答)を教えてください。



## 調査設計

- 調査目的 夫婦間のコミュニケーションの実態、特にメールの利用実態について量的に把握する。
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネットによる自記入式調査
- 調査対象 20歳から69歳までの男性(夫) 1,000サンプル、女性(妻) 1,000サンプル 計2,000サンプル。男女各1,000サンプルを7エリア(北海道、東北、関東、中部、関西、中国・四国、九州・沖縄)に人口構成比で割付。その後、10歳刻みで各エリアごとに均等割付。
- 調査時期 2009年3月
- 企画・分析 博報堂生活総合研究所
- 実施・集計 株式会社 スパイア

## 参考資料

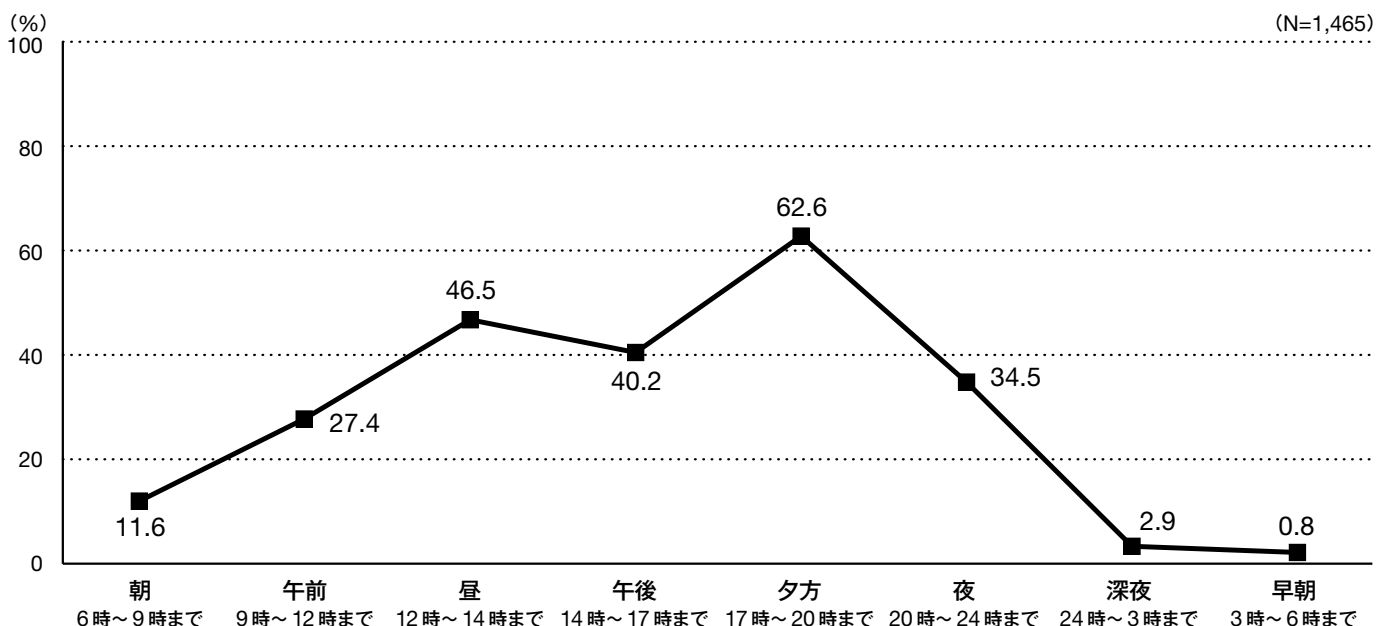
### 夫婦間メール利用時間帯のピークは「夕方」

夫婦間でメール利用する時間帯のピークは、「夕方(17時～20時まで)」(62.6%～夫婦間でメールを利用している人ベース～以下同)。朝から徐々に上昇し、「昼(12時～14時まで)」から「午後(14時～17時まで)」にかけては40%台で推移。そして「夕方」のピークを過ぎると減少に転じ、深夜はほとんど利用されなくなる。

### 夫婦間メールの利用時間帯

《全体》

Q 夫婦間でメールをやり取りする時間帯を教えてください。(複数回答)



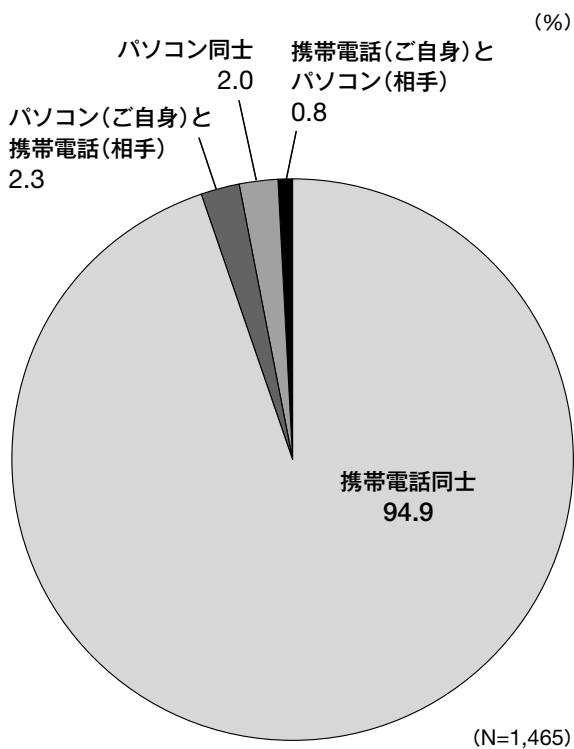
## 夫婦間メールおよび通話で最もよく利用されている機器は「携帯電話」

夫婦間メールにおいて最もよく使われている機器は「携帯電話同士」で行われているケースが圧倒的に高く94.9%（～夫婦間でメールを利用している人ベース～）。その他の選択肢はいずれも10%に満たなかった。ちなみに、通話においてもメールと同様「携帯電話」が92.4%（～夫婦間で通話を利用している人ベース～）で第1位であり、夫婦間のコミュニケーションにおいて最もよく利用されている情報機器は「携帯電話」とも言えるだろう。

### 夫婦間メールの利用機器

《全体》

Q 夫婦間のメールで最も多く利用する機器はどれですか。  
（単一回答）



### 夫婦間通話の利用機器

《全体》

Q 夫婦間の通話で最も多く利用する機器はどれですか。  
（単一回答）

